

そしてドイツは理想を見失った

川口マーン恵美



ドイツ在住の
ベストセラー作家が、
どうしてもいま日本人に
伝えたいこと

あの「民主主義の
優等生」が、
なぜ自由から逃走
したのか？

大失敗の難民政策、台頭する右派、
言論を取り締まるSNS規制法……

角川新書

定価：本体860円(税別)

そしてドイツは理想を見失った

川口マーン恵美

角川新書

K-200



9784040822174



1920231008608

ISBN978-4-04-082217-4
C0231 ¥860E

定価：本体 860円(税別)

KADOKAWA

2017年の総選挙の前も、「メルケル政権安泰」が大方の予測だった。しかし蓋を開けてみたら、CDU(キリスト教民主同盟)は、歴史始まって以来、最大の敗北を喫したのだ。私は、敗北の原因は、ドイツ政府とメディアが理想を追いかけ、現実を見失ったからだと思っている。その考察は日本の喫緊の課題であり、日本が国際政治の舞台上で生き残っていくポイントになるはずだ。 (「はじめに」より抜粋)

- 序章 SNS規制法案が可決された日
- 第1章 戦後ドイツとナチズムとの闘い
- 第2章 最強の女帝・メルケルの正体
- 第3章 なぜドイツと中国は仲良しなのか
- 第4章 矛盾に満ちたエネルギー・難民政策
- 第5章 EU内でも止まらない「反ドイツ」
- 第6章 そしてドイツは理想を見失った
- 終章 理想を追い求めても自由は手放すな